

よらおかわ 小合

発行者

小合地域コミュニティ協議会
(コミュニティセンター内)

☎0250-25-2299

発行人/阿部 繁

編集/総務部

地域の人口動態

令和6年11月末現在

世帯数 1,300 世帯

男 1,783 人

女 1,803 人

人口 3,541 人



小合地域全体で育む
新つながるプロジェクト

こあいミラビです。

▼こあいミラビって？

小合地域コミュニティ協議会が主導する地域活性化プロジェクトです。

地域の皆さんとともに、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりやイベントを通して、世代を超えた交流の場を目指しています。小合地区をもっと明るく楽しい場所にしていきます！

▼これまでの取り組み

・ アンケート調査で地域の声を収集！

小学校や中学校を通じて、コミセンがどうなったら嬉しいかアンケートを取りました。

マンガやボードゲーム、勉強スペース、季節イベントなどの要望が多く寄せられました！

・ お試しカフェ開催！

小合地区芸術祭に併せてオープンしたカフェは大盛況！

パティスリームラカミさんのサブレとコーヒーが大好評でした。

・ 冬休みキッズステーション(仮)

学習&遊びのスペースを小合地区コミュニティセンターにて

お試し開催予定 (※11月時点)



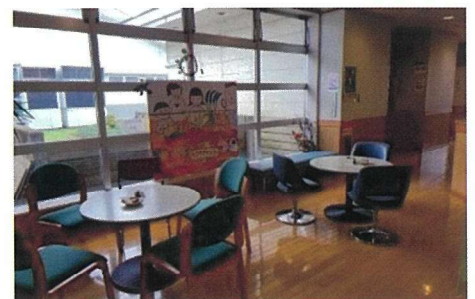
▼これからの目標

・ 子どもが遊びや学びを楽しめる場所づくり

・ 世代を超えた交流を促進するイベント開催

・ 地域みんなが参加しやすい環境づくり

「小合地区のみんなが「小合が好き！」と思える地域を目指します。



▼一緒にミラビを育てていきませんか？

こあいミラビは、地域の皆さんのアイデアで成長していくプロジェクトです。

「こんなことやってみよう！」という声をぜひお寄せください。

小合地域の輪を広げる活動を、これからも応援よろしくお願いします！

(寄稿：こあいミラビ スタッフ 古川綾子)



◀ミラビ公式サイト

自主防災訓練

R6.10.27



1次⇒2次避難所へ



段ボールベッド作り



段ボールベッド完成



簡易テント作り



簡易トイレ説明



テント内でトイレ



新聞紙でスリッパ



ガスボンベで発電



みそ汁の炊き出し

自主防災訓練お疲れ様でした。毎年1回は災害に関する訓練(小合14地区全住民参加)を行っています。今回の訓練は、「震度6強」の地震発生を想定して避難所開設を重点に行いました。

第2避難場所(各小中学校)に集合、避難者名簿作成(人数確認)、段ボールベッド・パーテーション作り、災害用飲料水、乾パンなど試飲試食等々実施し、マニュアル(時間・行動)に沿って大変有意義な訓練でした。

訓練は、予めこの時間帯で地震が発生し、避難することが分かっていたので、みなさんは少しのんびり集まっていました。が、実際に災害が発生した場合にはそのようにはいきません。「地震に対する意識の低さ」「訓練に参加していなかった」ということが生死を分ける報告も出ています。その意味で訓練をしましたが、ある程度の緊張感ではおそらく命を落とす危険もあります。一瞬一瞬その時々を大事にしながらか素早く自分の体験・経験に基づいて行動することが必要です。それが自分の知恵となり、はじめて命が助かります。

もう一つ災害は、いつ、どこで、どんな災害が起こるかわかりません。落ち着いて危険なところから速さか「自分の命は自分で守る」が最初の一步です。

この訓練を重ねていき命が助かる、誰かを助けることにも繋がると考えます。



小合地域コミュニティ協議会副会長

(防災士)

野瀬山 幸治

〳令和6年度小合地域自主防災訓練を終えて〳

芸術祭 賑やかに R6.11.17



書道教室作品、手芸品、鉛筆画、切り絵、俳句やサロンの皆さんの塗り絵、ちぎり絵、折り紙等の作品、地域内3つの老健施設の心温まるほっこり作品、小学生のチョークアート等のクラブ作品、中学生の体育祭パネル、サツマイモ販売、「合唱祭」の上映、放課後児童クラブのワークショップなど様々な年代の作品、催しが並びました。ミラビCAFÉからも賑やかな笑い声が聞こえてきていました。

陶芸教室 和気あいあいと 6.9.21



小屋場出身の「金津焼」押味修先生からご指導いただきました。先生の軽妙なトークにより和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことができました。完成した作品は「芸術祭」に出品されました。

輪投げ大会 歓声響く R6.11.24



優勝 小戸下組チーム



今年も賑やかな歓声が小合中学校体育館に響きました

- 優勝 小戸下組 B
- 準優勝 浦興野 A
- 第3位 大鹿 B
- 個人最高得点 小戸上組 吉田 尊さん

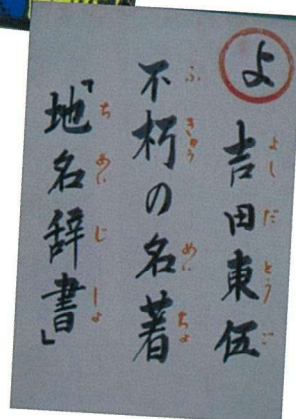
おめでとうございます

シリーズ

ふるさと小合のあれこれ



ふるさとカルタ ぎい



「吉田東吾」は、日本の地理や歴史の学問について深く研究した大学者です。

その有名な吉田東吾が、若い頃に小合東小学校の先生をしていたことがあ

るのです。「この学校の誇りの一つといえるでしょう。」

吉田東吾は元治元年(1864)4月14日北蒲原郡安田村保田の旗野家の三男として生まれました。学校を卒業後ひとりで勉強して、明治16年(1883)20歳の時小学校

の教員試験に合格し、大鹿校(後に小戸校と一緒になる)現在では小合東小学校)の先生になりました。お兄さんが大鹿の石黒家を継いでいて、その家が学校だったそうです。翌年、大鹿新田(大鹿)の吉田家の養子になりました。

その後東京に出て東京専門学校(現在の早稲田大学)の図書室に勤めました。明治35年には早稲田大学の教授となり、地誌や史学を教え、又たくさんの本を著しました。中でも特に有名なのが「大日本地名辞書」です。

※ちなみに「ひつじぐさ」で知られる「吉田千秋」は東吾の次男です。